

平成24年度第2回平塚市地方卸売市場運営審議会 議事録

日時：平成25年（2013年）3月18日（月）午前10時30分～午前11時30分

場所：平塚市水産物地方卸売市場会議室

出席者：11人 行川一郎委員・片倉章博委員・佐藤貴子委員・岡本節子委員・日比野奈保子委員・宇田川哲由委員・梅原勝之委員・土井博泰委員・片倉栄一委員・田中邦男委員・高橋裕委員

開会

1 委嘱状交付

当審議会の任期満了に伴い新委員へ委嘱状の交付を平塚市長が行った。

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 会長、副会長の選出について

互選の結果、会長に行川一郎委員、副会長に片倉章博委員が選出された。

(2) 平塚市水産物地方卸売市場の概要について

〈事務局〉（平塚市水産物地方卸売市場の概要について説明）

〈委員〉（質問等なし）

(3) 買受人の公募の再開について

〈事務局〉（買受人の公募の再開について審議結果等について説明）

公募は常時行うものとして考えてよいか。

〈委員〉 期間は設けずに、引き続き公募はやっていくべきだと考えている。

〈委員〉 これから再開する際には前回と同じ内容をそのまま掲載するのではなく、魚の絵等を挿入し、親しみが持てるページとして公開するべきである。

(4) その他

〈委員〉 市場への理解を深めるために、市民が魚市場のせり等を見学することは可能か。

〈委員〉 施設管理者の承認が得られれば問題ない。

〈委員〉 多くの方が見学等をきっかけに市場を身近に感じ、結果的に活性化に向かえば重畳である。

〈委員〉 平塚魚市場が他市町村で平塚産の水産物の売り込みをして、顧客の新規開拓をしていけないのか。

〈委員〉 少しずつだが、営業で新規開拓をしている。しかし、輸送技術の発達した現在、地元産よりも遠隔地から入ってくる水産物を買う方も多くなってきている。さらに、商売の相手として信用できる者となると新規開拓は簡単なことではない。

閉会